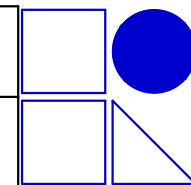
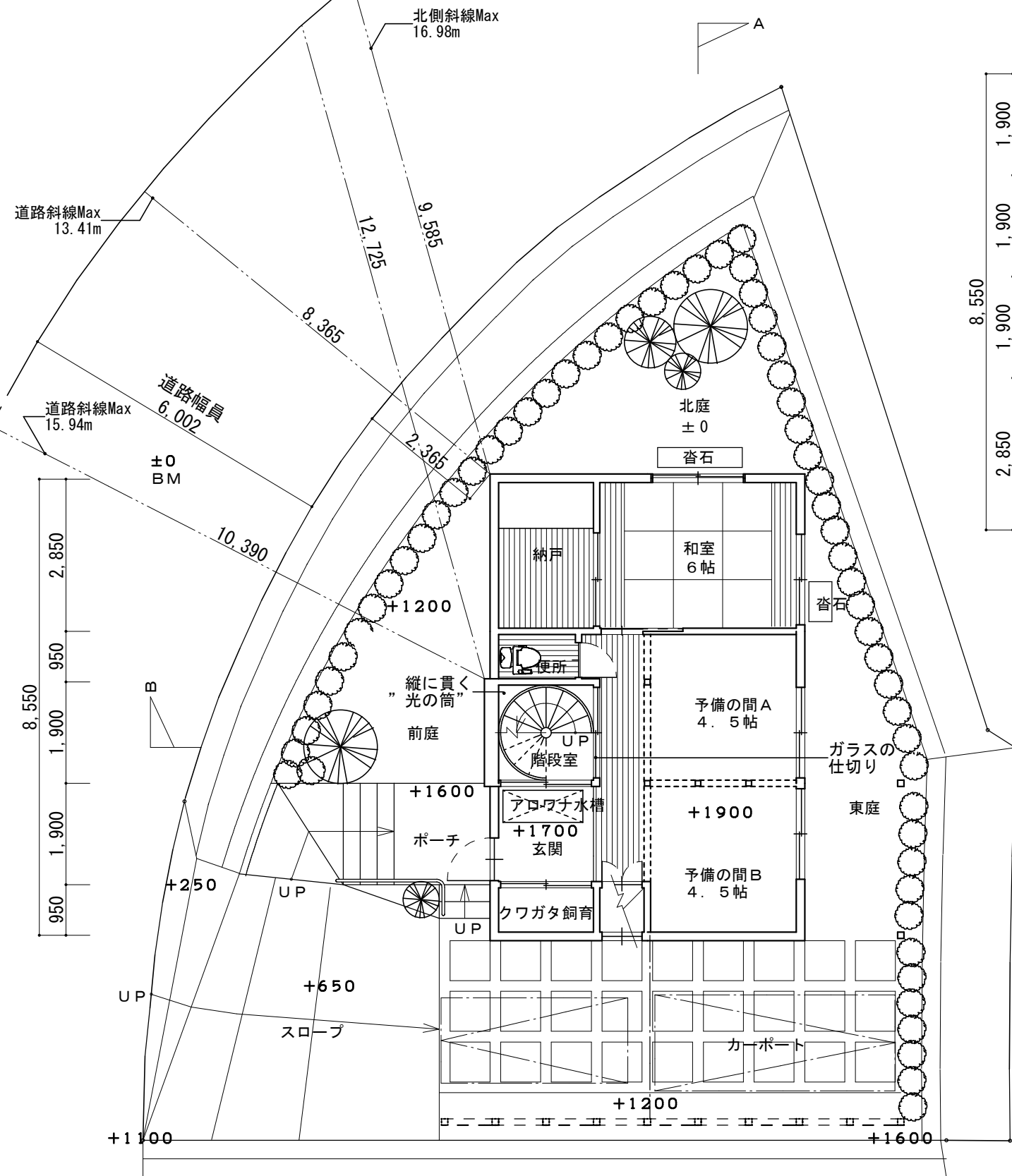


(仮称) 光の筒で繋がる1ルームハウスProject

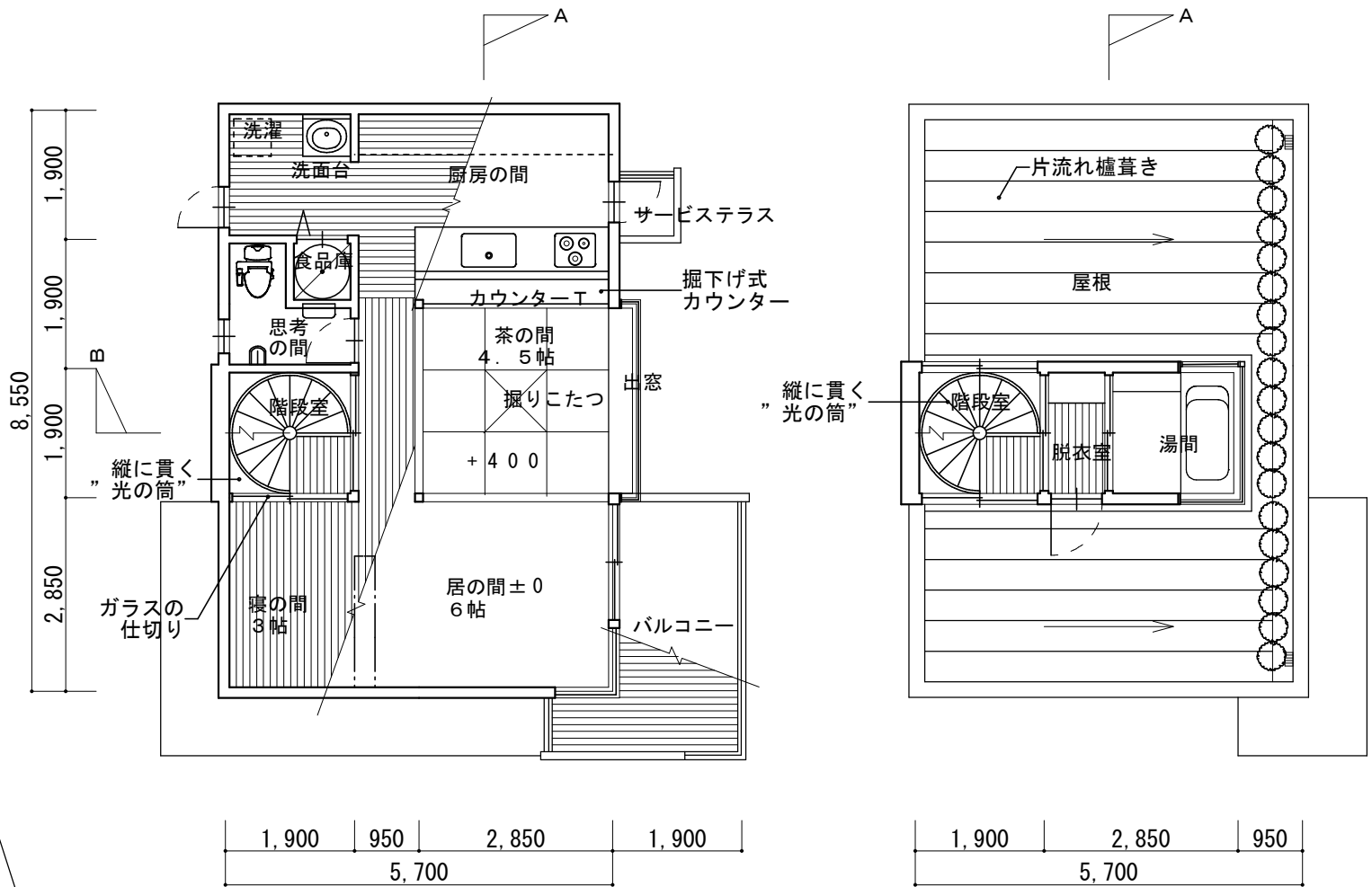


村上公建築研究所

〒811-1362 福岡市南区長住7-2-21-310
PHONE 092-554-4926



配置図・1平面図 S=1:100



2平面図 S=1:100

名称	床面積	m ²
3階	9.025	
2階	48.735	
1階	48.735	
延床面積	106.495	(32.21坪)
施工床面積	115.519	(34.94坪)

3平面図 S=1:100

建築面積	51.442	(15.56坪)
容積対象面積	106.495	(32.21坪)
建蔽率	60%	> 36.8%
容積率	80%	> 46.7%
敷地面積	227.89	
工法	木造在来工法	

※モジュール=950

設計趣旨

配置計画としては、まず建築協定、緑化協定に抵触しないように考慮しました。

敷地境界周囲には、低木(H=1m)を植え込む計画です。

雨天時の駐車場と玄関の位置関係隣家との生活行為が迷惑にならないように、隣の住宅の窓、玄関、勝手口の位置にも配慮しました。

特に南側の隣家が敷地境界一杯まで建っていて、今回、眺望確保と言う命題と、プライバシーの確保の兼ね合いもありますので、出来る限り敷地北側に寄せました。

外構計画として、敷地が不整形なので、庭を利用目的により3つに分けてみてはと考えます。

玄関横の前庭は、来客や主を最初に迎える空間として演出し、北庭の和室前は観る庭、癒し庭園として演出、来客などをもてなします。一方東庭は芝などをはり車庫の延長として実用的に使われてはいかがでしょうか。

建築計画としては、第1に北東から南西にかけての眺望を2階のどこからでも望めるようにすること。

第2に、2階の主生活の場を1ルームとして、広く感じしかも多用途にも過不足なく対応できること。

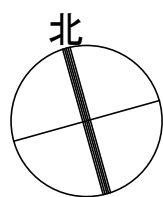
第3に浴室を最も眺望の良い場所に確保すること。

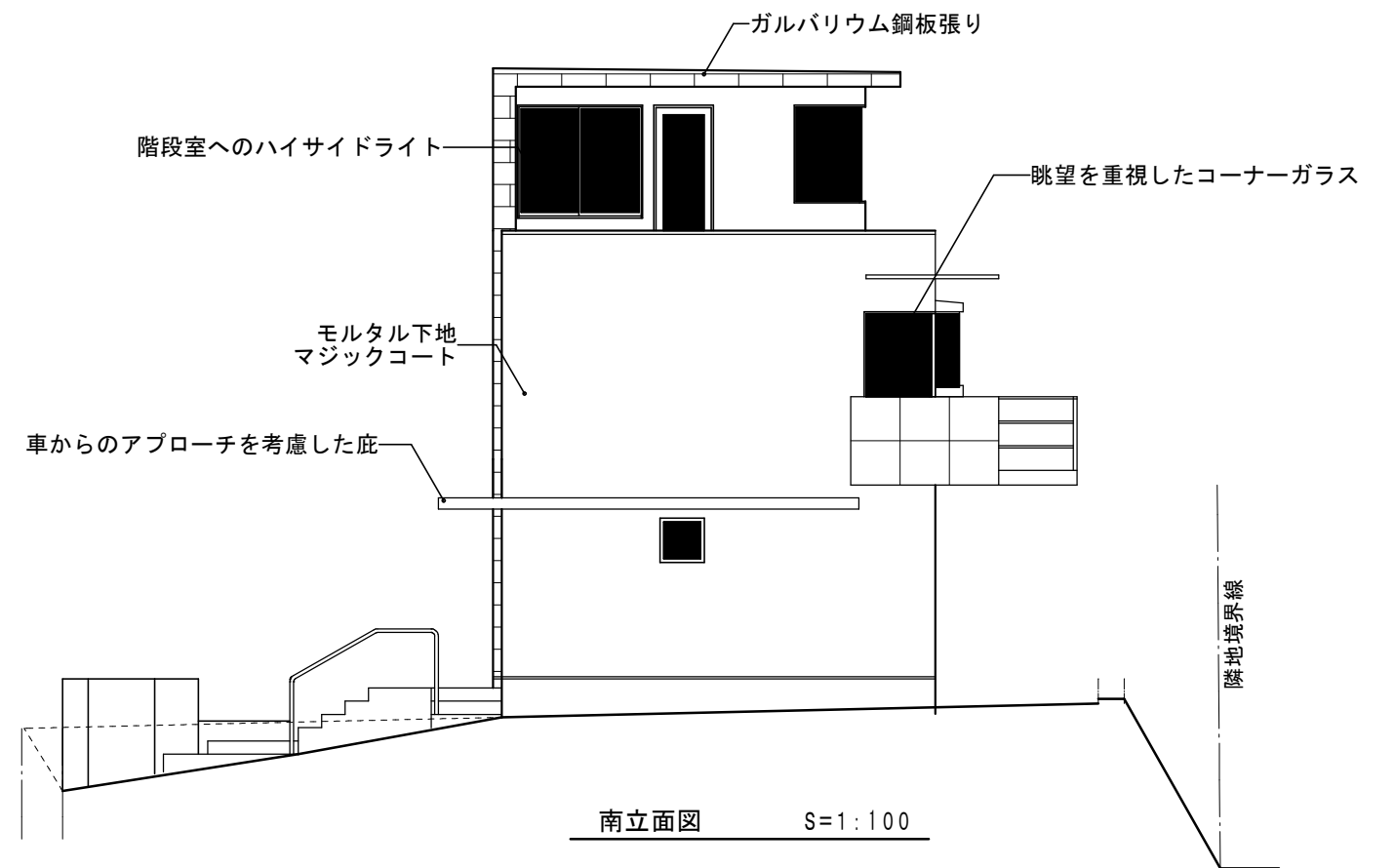
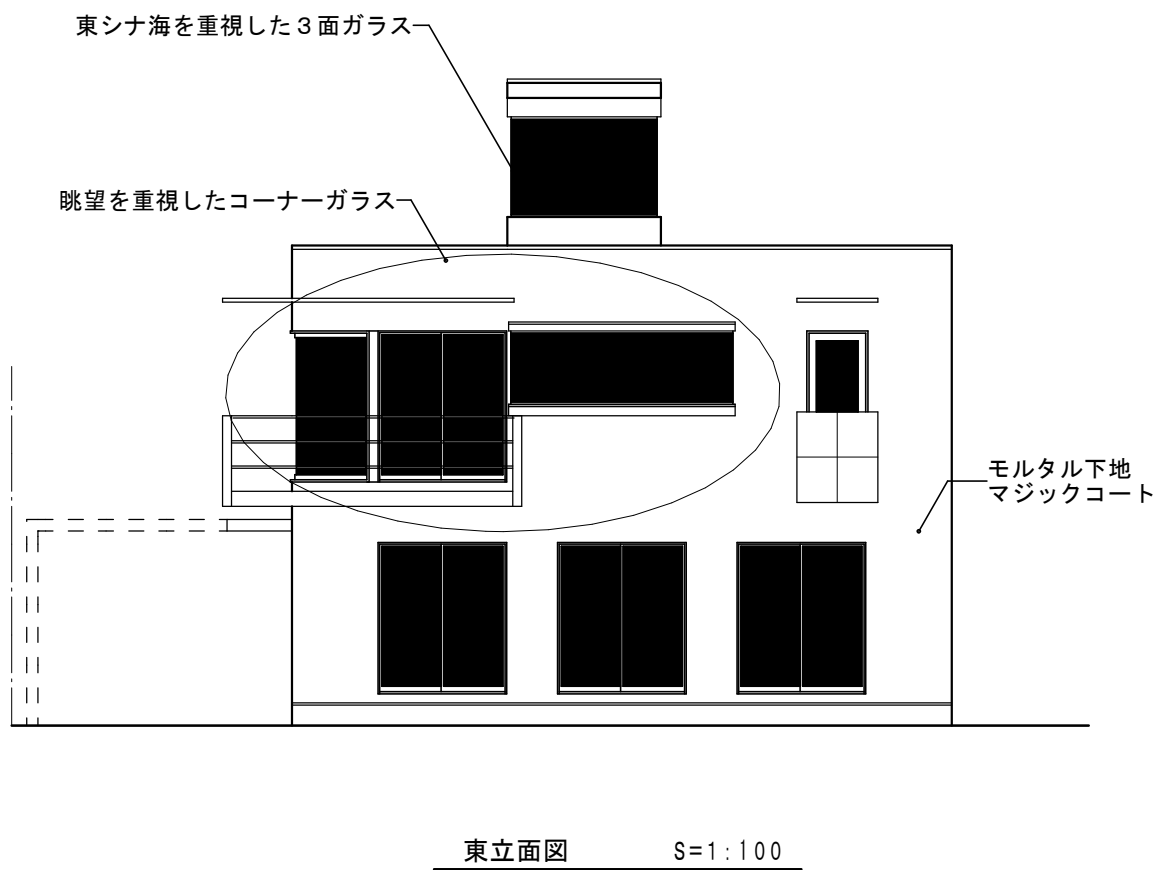
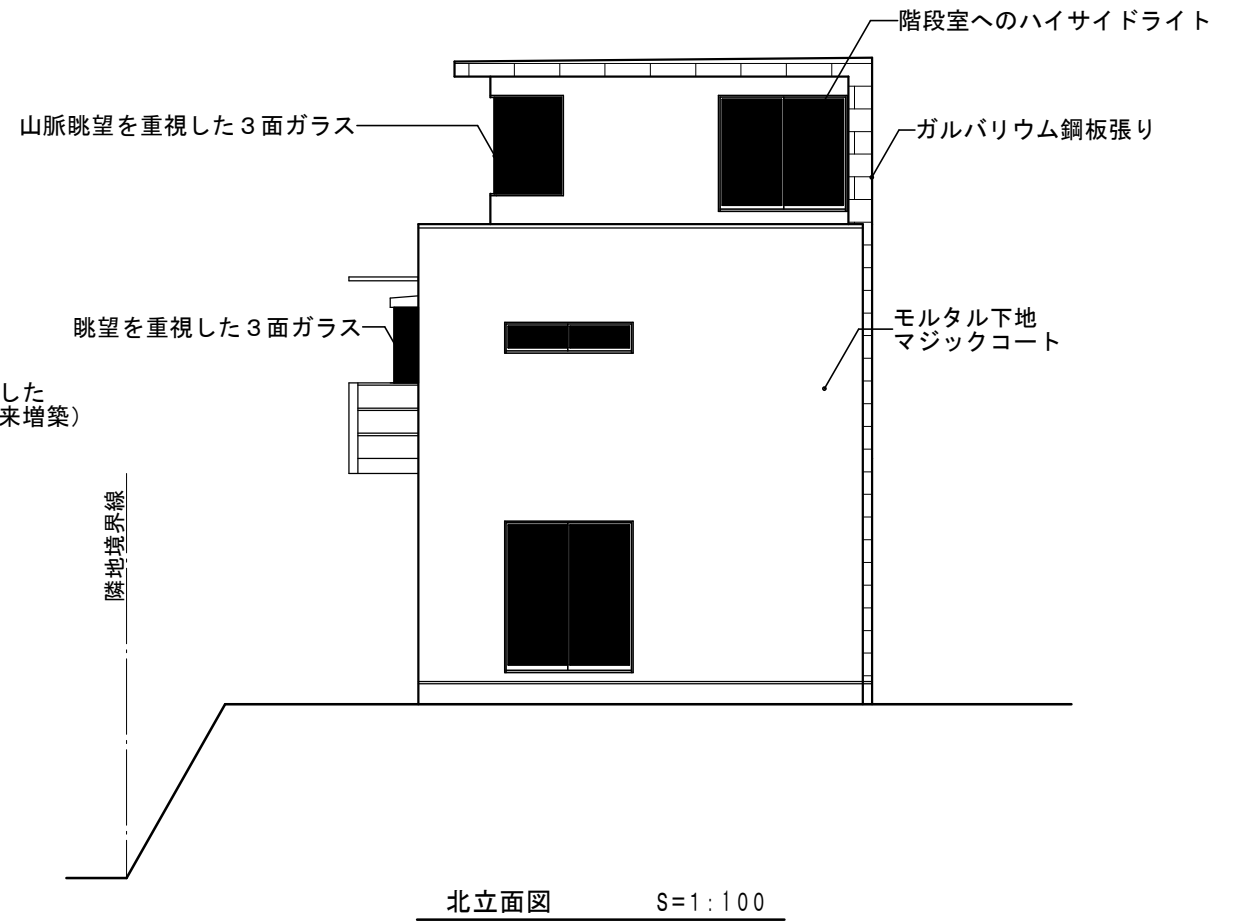
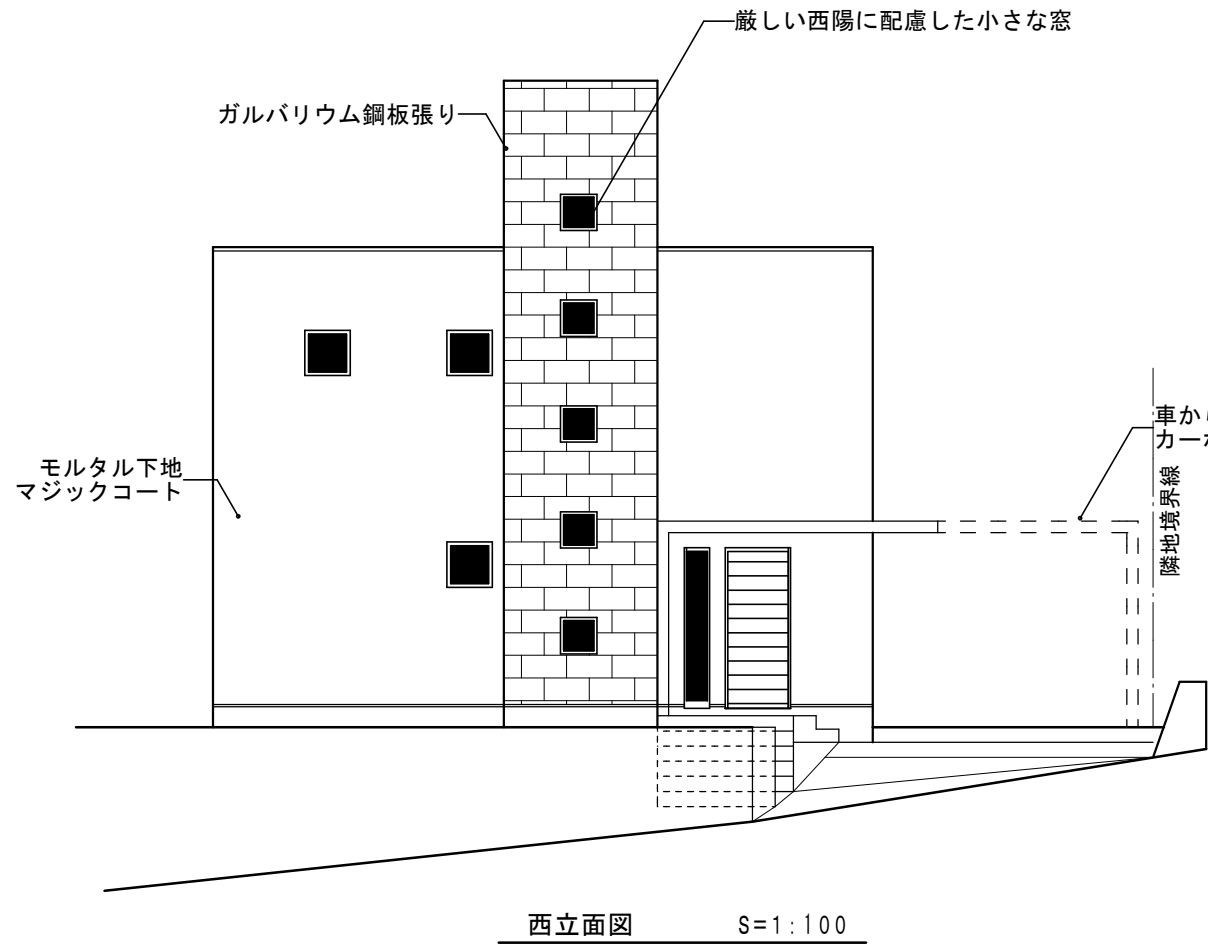
第4に車庫から玄関へのアプローチに配慮すること。

第5に将来の増改築に対応できること。大きくは以上の5点に気を配って計画しました。

今回の計画で最大の工夫は、高台にあることから眺望を確保しつつ、周辺の他家からの見えにも配慮し、さらに厳しい九州の西陽にも対応するため、外壁の窓サッシは最小限にし、採光・日射確保の代用策として、建物の中央に"光の筒"を計画しました。

これは1階から3階まで貫く、ガラスに囲まれた螺旋階段で、3階からハイサイドライトが降り注ぎ各階を陽光が満たします。

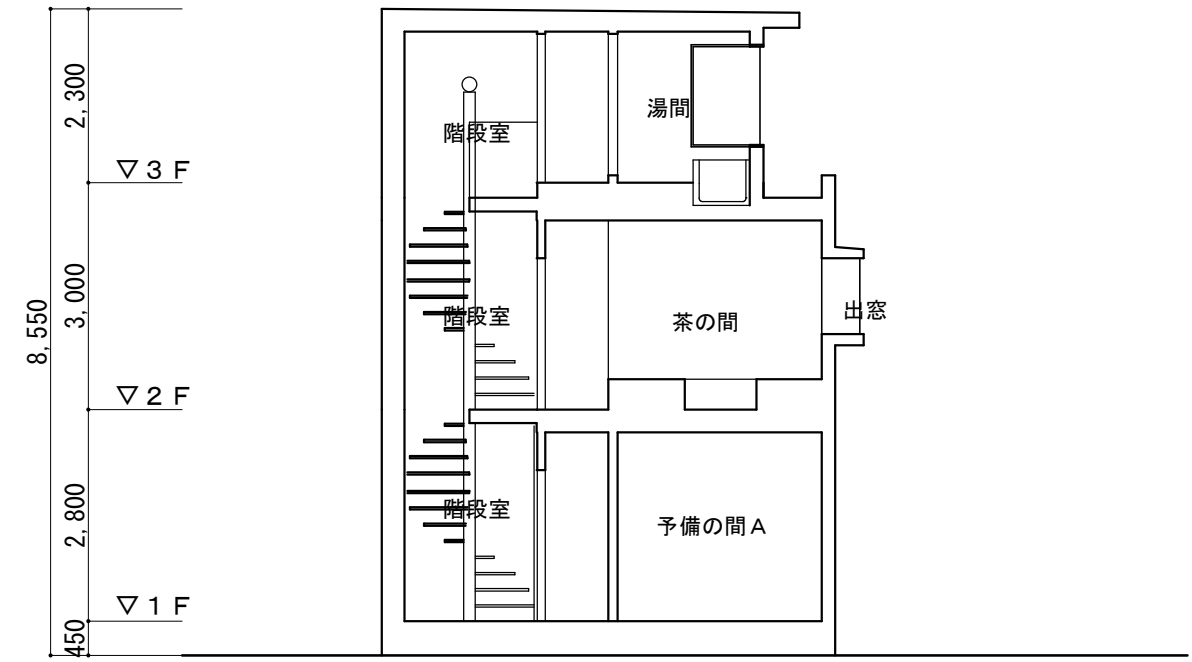




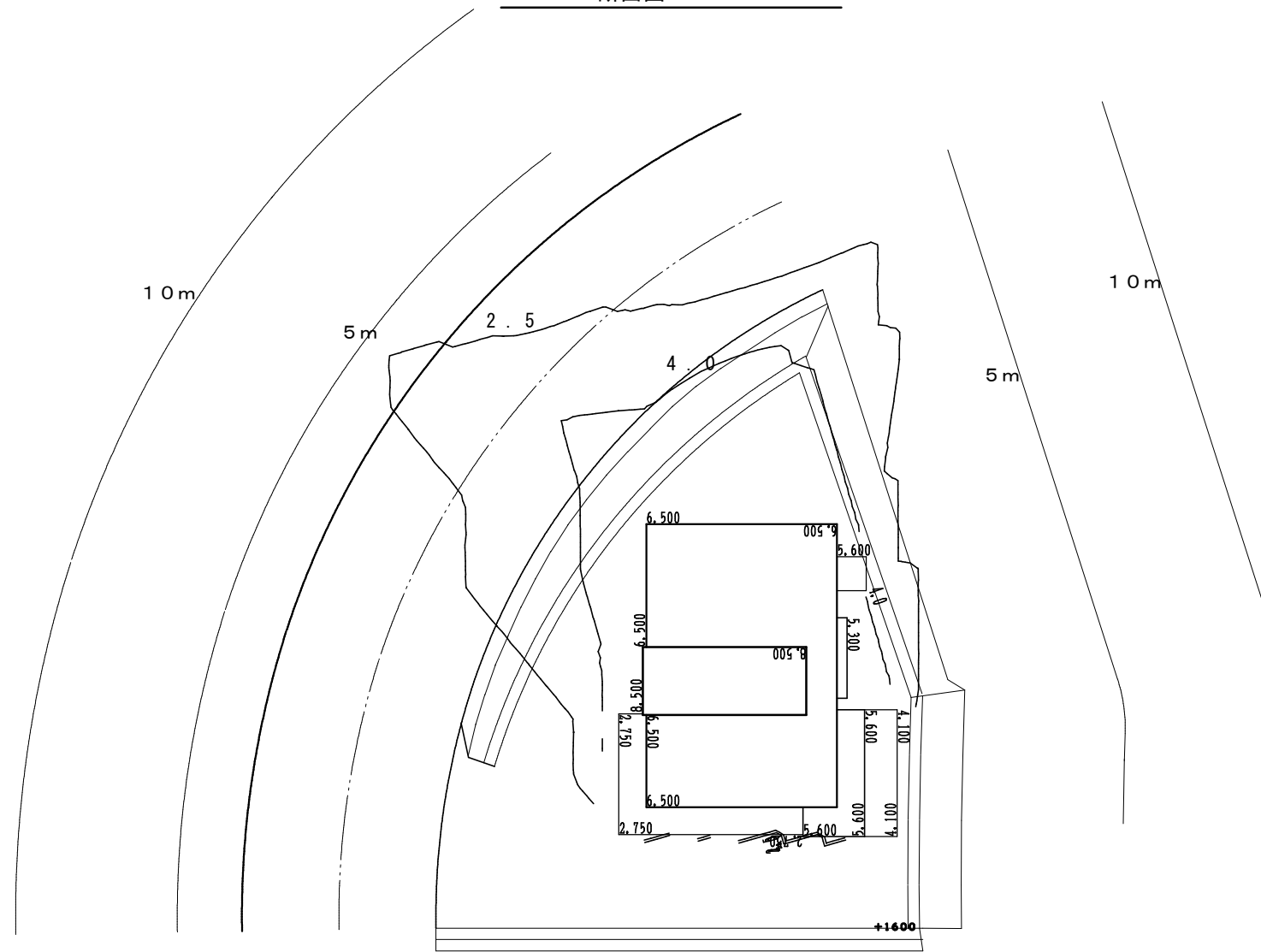
20051108



A - A 断面図 S=1:100



B - B 断面図 S=1:100



日影図 S=1:100

内部仕上げ

予備室A・B
 床：フローリング張り t15
 壁：PB12.5下地AEP
 天井：PB12.5下地AEP

和室
 床：畳敷き一部縁甲板張り
 壁：PB12.5下地和紙張り
 天井：PB12.5下地和紙張り

居の間
 床：フローリング張り t15
 壁：PB12.5下地AEP
 天井：PB12.5下地AEP

茶の間
 床：畳敷き
 壁：PB12.5下地AEP
 天井：PB12.5下地AEP

便所・思考の間
 床：フローリング張り t15
 壁：PB12.5下地AEP
 天井：PB12.5下地AEP

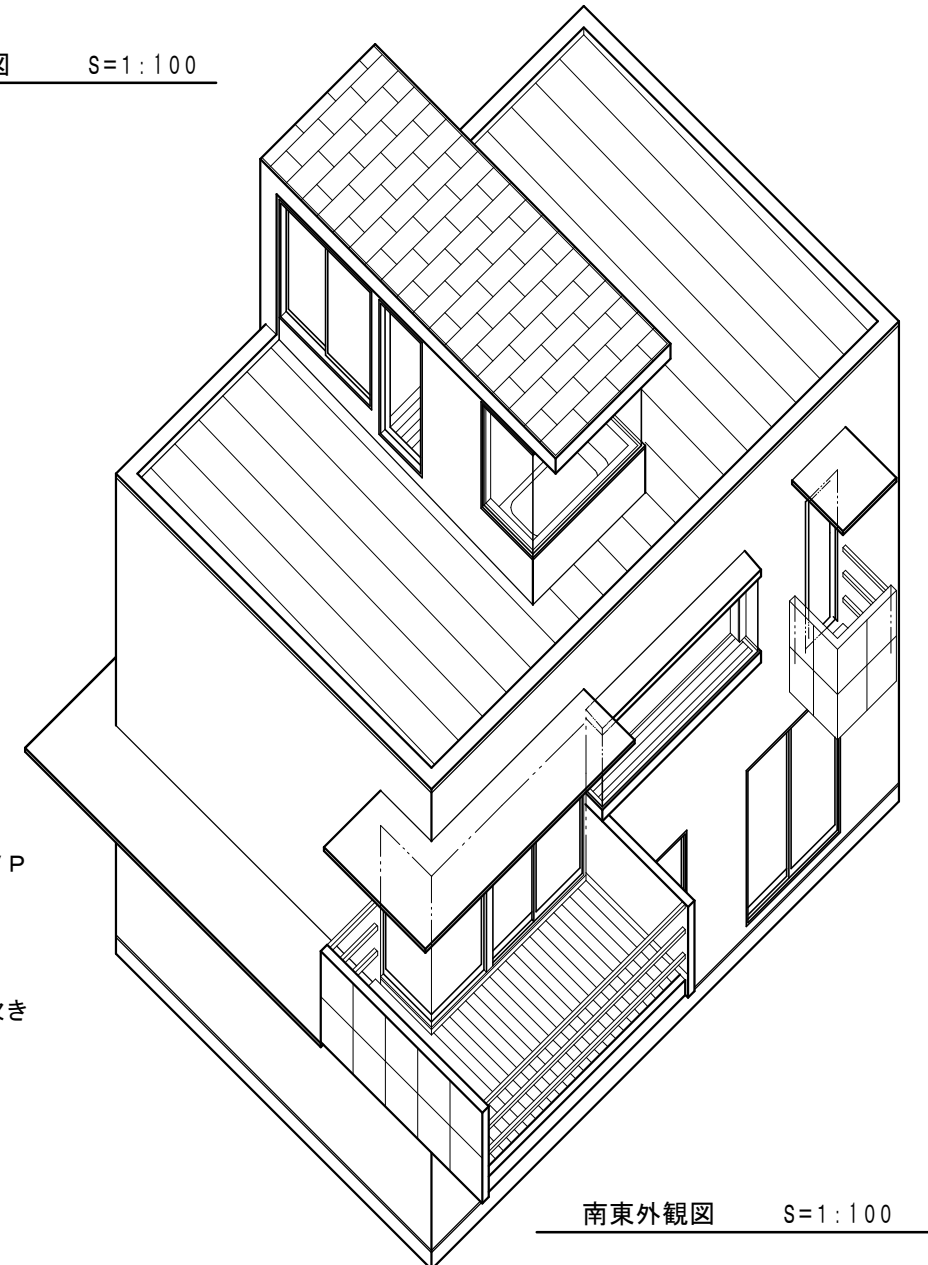
湯間
 床：タイル張り
 壁：タイル張り一部ケイカル板下地VP
 天井：ケイカル板下地VP

外部仕上げ

屋根：ガルバ鋼板縦樋葺き t0.3
 外壁：モルタル下地マジックコート吹き
 一部ガルバ鋼板横葺き t0.3
 開口部：アルミサッシ

カーポート
 モルタル金ゴテ一部芝張り
 上屋：ガルバ鋼板(予算デ増築)

バルコニー
 床：セラガンバツ張り



南東外観図 S=1:100

